



ユーザーマニュアル

ドライブレコーダー DrivePro™ 10

2022/11

Version 2.0



目次

1.	システム動作条件	2
2.	パッケージ内容	3
3.	使用前の準備	4
3-1	各部名称	4
3-2	microSD カードの取り付け	5
3-3	DrivePro の取り付けと電源への接続	6
3-4	機能ボタン	8
3-5	LED 表示	9
4.	録画	10
4-1	通常録画	10
4-2	緊急録画	10
5.	DrivePro アプリの使い方	11
5-1	アプリのダウンロードとインストール	11
5-2	DrivePro への接続	11
5-3	モバイル機器での録画ファイルの再生	13
5-4	アプリの設定	14
6.	DrivePro Toolbox ソフトウェア	16
7.	PC へのファイル転送	17
8.	安全のための使用上の注意	19
9.	トラブルシューティング	21
10.	仕様	22
11.	リサイクルと環境への配慮	23
12.	EU Compliance Statement	24
13.	Federal Communications Commission (FCC) Statement	25
14.	保証規定	26
15.	GNU General Public License (GPL) Disclosure	27
16.	使用許諾契約(EULA)	27

1. システム動作条件

DrivePro をデスクトップ/ノート PC の USB ポートに接続するために必要な環境

- Windows® 7 以降
- macOS® X 10.14 以降

DrivePro Toolbox を PC で使用するために必要な環境

- Windows® 7 以降
- macOS® X 10.14 以降

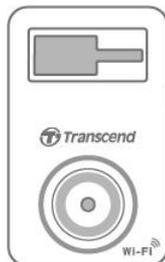
DrivePro アプリをモバイル機器で使用するために必要な環境

- Android 6.0 以降
- iOS 11.0 以降

2. パッケージ内容

パッケージには以下が同梱されています。

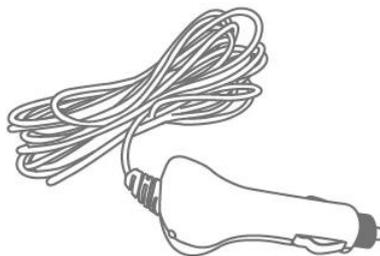
- DrivePro 10 ドライブレコーダー



- 取り付けブラケット(接着タイプ)



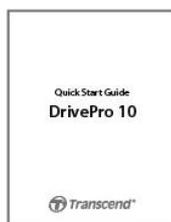
- カーアダプタ



- microSD カード



- Quick Start Guide (クイック操作ガイド)



3. 使用前の準備

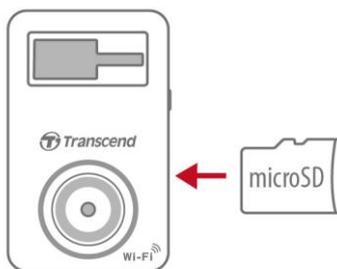
3-1 各部名称



3-2 microSD カードの取り付け

録画始める前に microSD カードを DrivePro に挿入してください。32GB~256GB の Class 10 以上のカードをご使用ください。

1. microSD カードを DrivePro のカードスロットに挿入します。



メモ리카ードのフォーマット

新しい microSD カードを DrivePro で使用する場合はフォーマットを行ってください。フォーマットは、DrivePro アプリの**設定**で実行します。

DrivePro 10 に付属している microSD カードは、頻繁にフォーマットする必要はありませんが、より安定した録画を行うために定期的にフォーマットすることをお勧めします。

注記: フォーマットを行うと microSD カードに保存されているデータは全て消去されます。

注意:



1. DrivePro 10 が対応しているファイルシステムは FAT32 です。exFAT と NTFS には対応していません。
2. DrivePro を正しく動作させるために、microSD カードのアロケーションユニットサイズは 32KB 以上に設定してください。

2. microSD カードを押すとカードスロットから排出され、取り出すことができます。

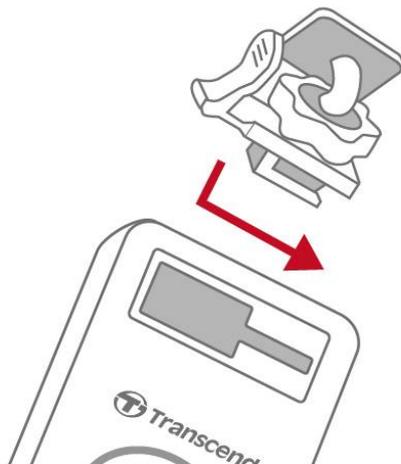


注意: 録画データの損傷や消失を防ぐために、シャットダウン中に microSD カードを取り出さないでください。

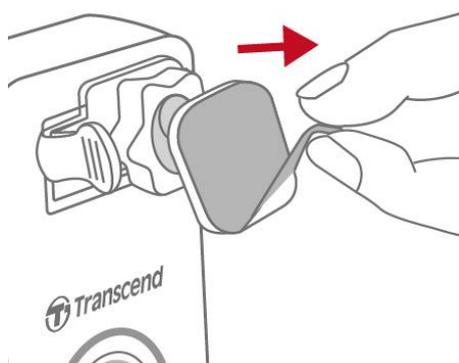
DrivePro	解像度	microSD カード容量			
		32GB	64GB	128GB	256GB
DrivePro 10	2K QHD 1440P 30fps	2.5 時間	6 時間	11.5 時間	26.5 時間
	フル HD 1080P 30fps	3.5 時間	7 時間	14 時間	32 時間
	HD 720P 30fps	7 時間	14 時間	28 時間	61.5 時間
	フル HD 1080P 60fps	2.5 時間	5 時間	10 時間	22 時間

3-3 DrivePro の取り付けと電源への接続

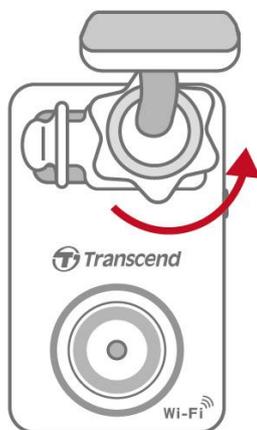
1. 取り付けブラケットを DrivePro 上部に差し込みカチッと音がするまでスライドさせて固定します。



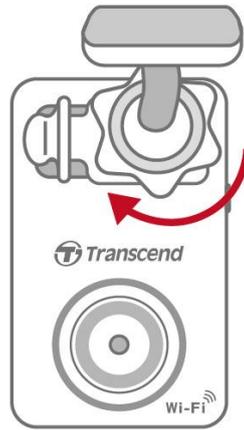
2. DrivePro を取り付ける位置を決めてフロントガラスを清掃します。
3. 取り付けブラケットの保護フィルムを剥がし、DrivePro をフロントガラスまたはバックミラーにしっかりと取り付け固定します。



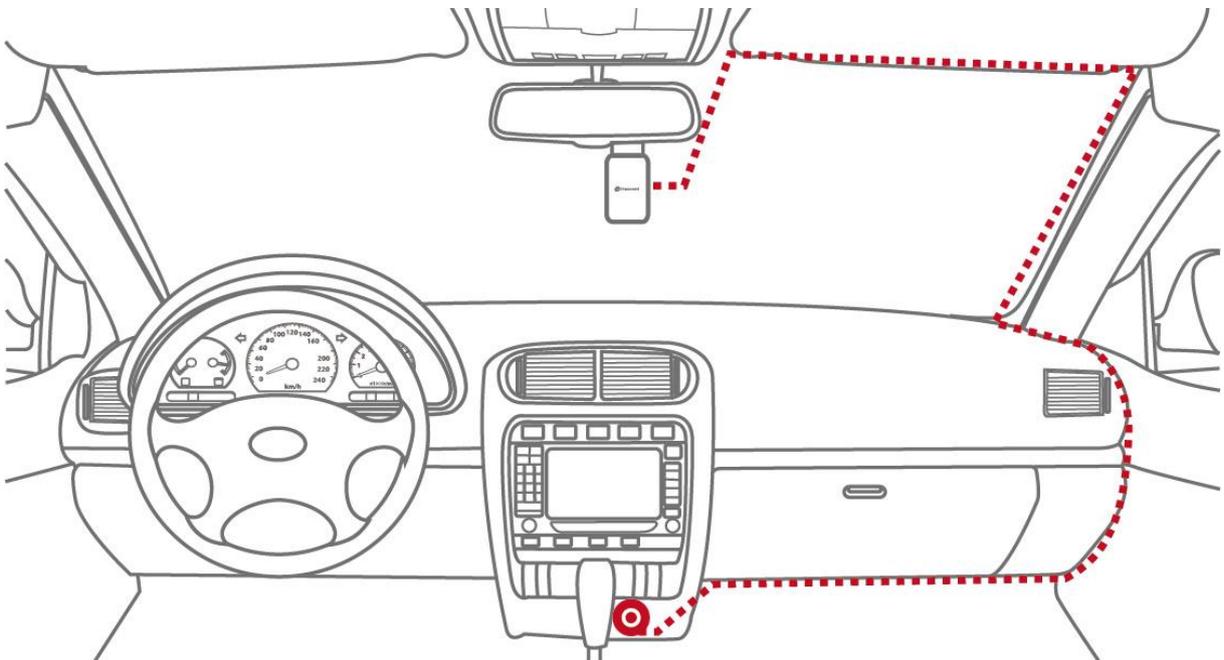
4. 調節ノブを反時計回りに回して緩め、DrivePro の位置を調節します。



5. DrivePro の位置が決まったら、調節ノブを時計回りに回して固定します。その場所に DrivePro がしっかりと安全に固定されていることを確認ください。



6. カーアダプタのマイクロ USB 端子を DrivePro の USB ポートに接続します。



7. カーアダプタの出力プラグを車のシガーソケットに接続します。
8. 車のエンジンをかけると、DrivePro は自動的に起動して録画を開始します。DrivePro アプリをダウンロードしたモバイル機器で映像を確認しながら DrivePro の設置角度を調整します。

3-4 機能ボタン



モード	緊急録画ボタンの使い方
緊急録画	<ul style="list-style-type: none"> ボタンを短く押すと、手動で緊急録画を開始できます。
初期化	<ul style="list-style-type: none"> ボタンを 10 秒間長押しすると、DrivePro の設定を初期化し、microSD カードをフォーマットします。 注記: フォーマットを行うと保存されているデータは全て消去されます。



モード	リセットボタンの使い方
リセット	<ul style="list-style-type: none"> クリップの先端をリセットボタンの穴に差し込み、数秒間押し、DrivePro の電源がオフになり、再起動します。 注記: リセットによって保存データが消去されることはありませんが、リセットを実行した際に録画していた映像は正しく保存できていない場合があります。

3-5 LED 表示



録画中

LED	Wi-Fi	表示	状態
● ブルー	オン	点滅	通常録画
		高速点滅	緊急録画
		点灯	録画停止中* (アプリの Browser/Setting メニューを利用時など)
● レッド	オフ	点滅	通常録画中のシャットダウン時
		高速点滅	緊急録画のシャットダウン時
		点灯	録画停止中* (カードエラーなど)

注記: Wi-Fi 接続は DrivePro が電源に接続されている場合に利用可能です。

*microSD カードにエラーが発生したり、DrivePro アプリの **Browser/Setting** メニューをタップすると、DrivePro は録画を停止します。

microSD カードのフォーマット中

LED	表示	状態
● レッド	超高速点滅	microSD カードのフォーマット

PC 接続時

LED	表示	状態
● レッド	点灯	PC と接続

4. 録画

4-1 通常録画

車のエンジンをかけると、DrivePro は自動的に起動して録画を開始します。デフォルトでは 1 分毎に録画ファイルを保存します。録画の長さは DrivePro App の設定で変更できます。エンジンを止めると DrivePro は自動的に現行の録画データを保存して電源をオフにします。

注記: 車によってはエンジンを止めた後もシガーソケットから電源供給を行うことがあります。その場合はバッテリーの消耗を抑え、予期せぬ問題を防ぐために、エンジン停止後またはアイドリング状態時にシガーソケットからカーアダプタを外してください。

4-2 緊急録画

メモリ容量の 30%が緊急録画ファイルの保存用に確保されています。緊急録画モードで記録されたファイルは上書きされないように保護されます。

手動による緊急録画: 録画中に DrivePro 側面部の緊急録画ボタンを押すと、手動で緊急録画モードに切り換えることができます。緊急録画を開始すると、LED (レッドまたはブルー)が素早く点滅します。



G センサーによる緊急録画: 録画中に DrivePro が衝撃を感知すると自動的に緊急録画モードに切り換わります。

- G センサーの感度を High (高)に設定すると、わずかな衝撃も感知して緊急録画モードになります。
- G センサーの感度を Low (低)に設定すると、大きな衝撃のみ感知して緊急録画モードになります。

G センサーの感度調節や有効/無効設定は、DrivePro アプリの設定で行います。

注記: 緊急録画ファイルの保存領域に空きがなくなると、新しい緊急録画ファイルは最も古い緊急録画ファイルを上書きして保存されます。

5. DrivePro アプリの使い方

iOS/Android 機器専用の DrivePro アプリは無料でダウンロードでき、ワイヤレスで DrivePro にアクセスして録画中の映像をライブビューで確認したり、DrivePro の設定を変更したり、録画ファイルをモバイル機器で再生することが可能です。



5-1 アプリのダウンロードとインストール

1. App Store または Google Play で“DrivePro”を検索し、アプリをダウンロードしてインストールします。



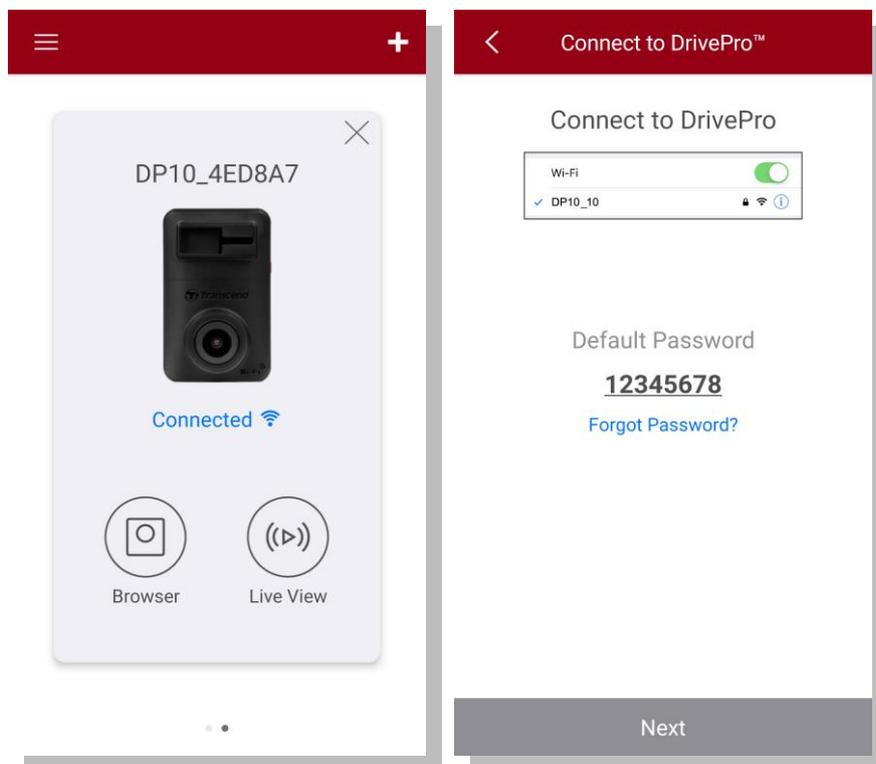
2. モバイル機器のホーム画面にアプリのアイコンが表示されます。

5-2 DrivePro への接続

1. DrivePro に Wi-Fi 接続する前に、DrivePro にカーアダプタから電源が供給されていることを確認してから、モバイル機器の DrivePro アプリを起動します。
2. アプリの画面で、DrivePro 10 (DP10)アイコンをタップします。

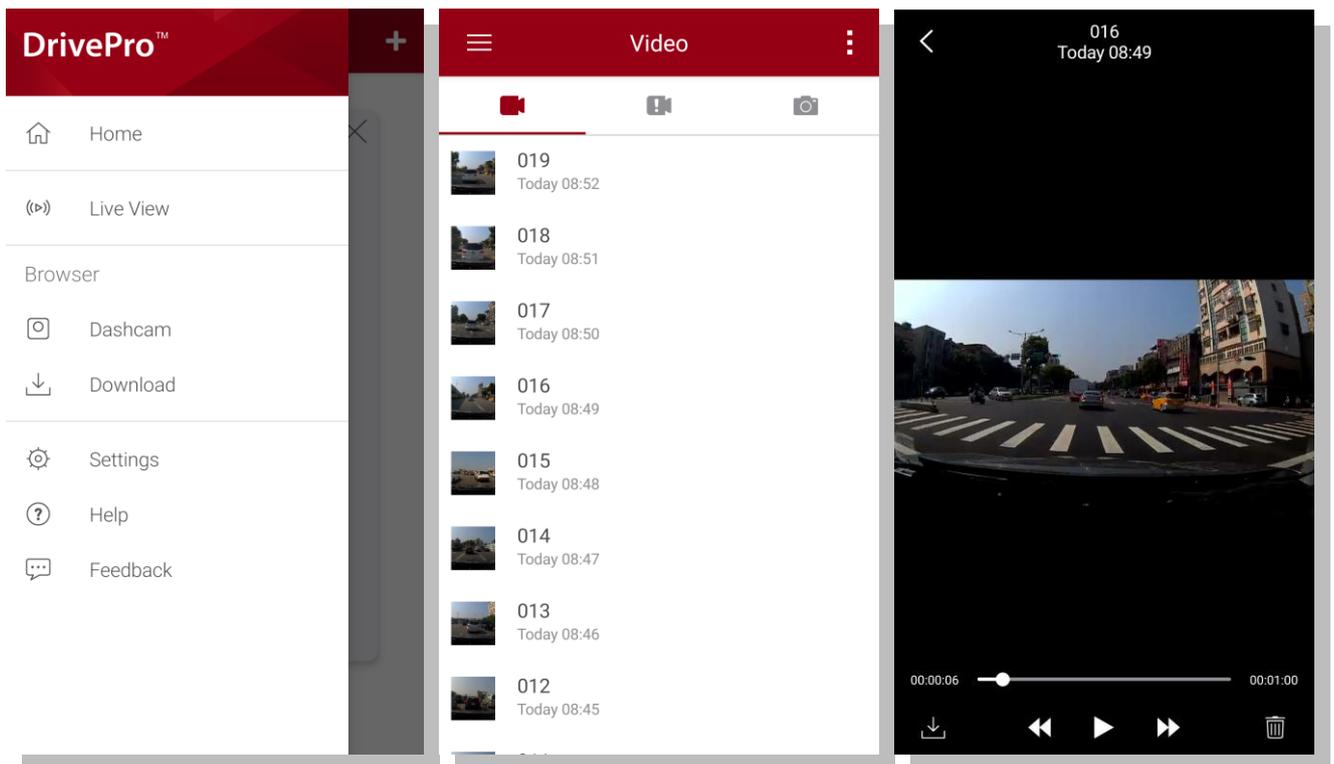


3. Wi-Fi 接続する DP10 の SSID を選択し、パスワードを入力します。デフォルトのパスワードは **12345678** です。



4. 接続が完了すると、アプリの **Browser**  や **Live View**  機能が利用できます。

5-3 モバイル機器での録画ファイルの再生



1. 保存されているファイルを開覧するには、**Browser**  をタップします。
2. 通常録画または緊急録画されたファイルを再生できます。
3.  をタップするとファイルのダウンロード、 をタップするとファイルの削除が行えます。

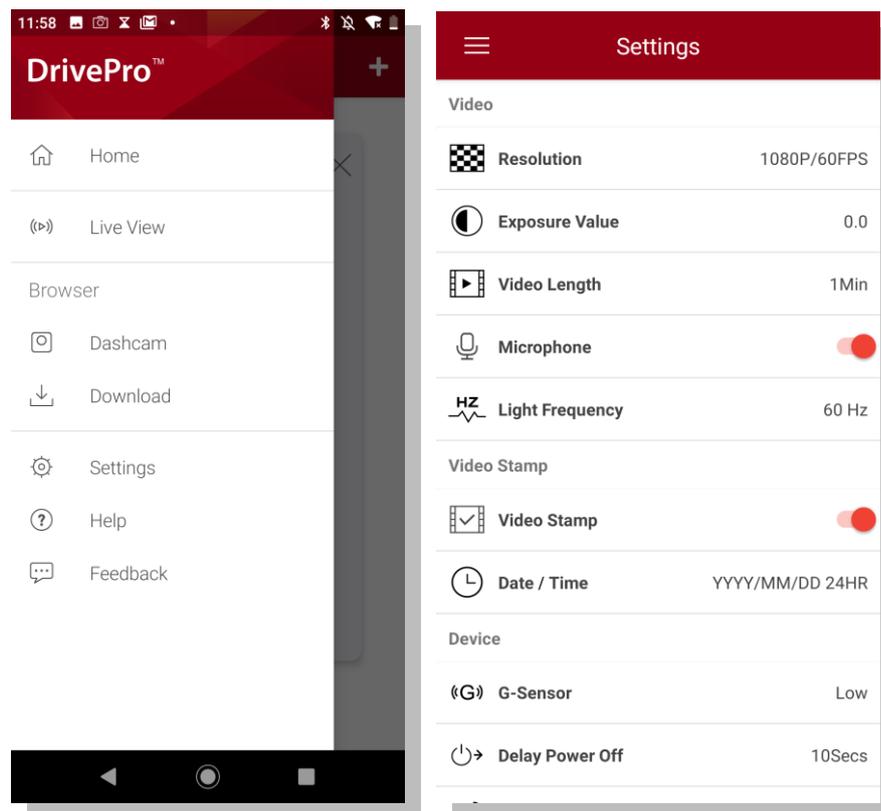
注記: アプリの **Browser**  や **Settings**  をタップすると録画を停止し、LED 表示は点灯(ブルー)に変わります。アプリを終了させると、録画を再開します。

ライブビュー

録画中の映像をモバイル機器で確認する場合は、**Live View**  をタップします。

5-4 アプリの設定

Settings  で録画データや DrivePro の設定を変更できます。



VIDEO

-  **解像度:** 動画の解像度設定
オプション: **1440P 30FPS (デフォルト) / 1080P 30FPS / 720P 30FPS / 1080P 60FPS**
-  **画面の明るさ:** 明るさの調節
オプション: **+2.0 / +1.5 / +1.0 / +0.5 / 0.0 (デフォルト) / -0.5 / -1.0 / -1.5 / -2.0**
-  **録画の長さ:** 録画ファイルの録画時間を設定
オプション: **1分(デフォルト) / 3分 / 5分**
-  **ボイスレコード:** 録画中のマイクのオン/オフ
オプション: **無効 / 有効**
-  **LED信号機設定:** 信号の点滅を軽減するための適度な周波数を設定
オプション: **50Hz / 60Hz (東日本は50Hz、西日本は60Hzに設定します。)**

VIDEO STAMP

-  **タイムスタンプ:** 録画中のファイルに現行時刻の表示設定
オプション: **無効 / 有効**
-  **日時表示:** 日時の表示形式を設定
オプション: **YYYY/MM/DD / MM/DD/YYYY / DD/MM/YYYY、24HR / AM/PM**

DEVICE

-  **Gセンサー:** Gセンサーの感度を調節
オプション: 無効 / 低(デフォルト) / 中 / 高
-  **電源オフ:** 電源をオフにするタイミングを設定
オプション: 無効 / 10秒(デフォルト) / 30秒
-  **音量:** スピーカーの音量調節
オプション: 0 ~ 7 (0: 消音モード)
-  **電源オフ:** 電源をオフにするタイミングを設定
オプション: 無効 / 10秒(デフォルト) / 30秒
-  **Wi-Fi:** DrivePro に Wi-Fi 接続するための SSID を設定
注記: SSID を変更すると、次回 Wi-Fi 接続時から新しい SSID が適用されます。

SYSTEM

-  **時刻同期:** DrivePro の時刻設定をモバイル機器の時刻設定に同期
-  **フォーマット:** タップすると、フォーマットを開始
-  **ファームウェア更新:** タップすると、ファームウェアを最新バージョンに更新

注意: ファームウェアのアップデート中に電源ケーブルを外したり、microSD カードを取り外さないでください。



1. ファームウェアのアップデートを開始すると、DrivePro はシャットダウンし、LED が点滅(レッド)します。アップデートが完了すると、DrivePro は自動的に再起動します。
2. ファームウェアのアップデートに失敗して DrivePro が起動しなくなった場合はトランセンドのカスタマーサポートまでお問い合わせください。

6. DrivePro Toolbox ソフトウェア

DrivePro Toolbox は、コーデックのインストール不要で DrivePro で記録した録画ファイルの再生や走行経路の確認ができるソフトウェアです。

1. ソフトウェアをダウンロードします。
<http://jp.transcend-info.com/downloads>
2. デスクトップ/ノートPCにインストールします。

ソフトウェアの機能

1. 動画のソート
ファイル名、録画日、グループでファイルをソートします。
2. スムーズな動画再生
DrivePro もしくは microSD カードスロット対応のカードリーダーやアダプタを利用してデスクトップ/ノート PC に接続し、録画ファイルを再生します。
3. 動画の編集/トリム
選択した動画をトリムし、新しいクリップとして保存できます。動画の再生中にスナップショットを撮ることもできます。
4. 走行経路の表示
地図上に走行経路が表示されます。この機能は GPS 受信機が搭載されている DrivePro のみ利用可能です。

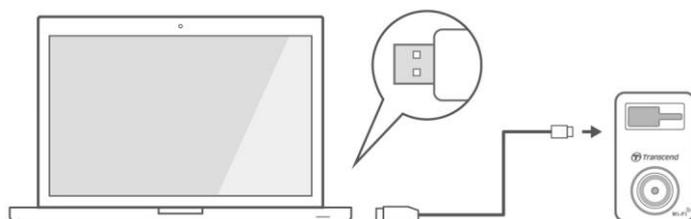
7. PC へのファイル転送

以下の方法で DrivePro に挿入されている microSD カードと PC 間でデータ転送が行えます。

方法 1: microSD カードを DrivePro から取り出し、カードリーダーを使用して録画データを PC に転送します。

方法 2:

1. microSD カードを DrivePro に挿入します。
2. USB ケーブル(別売り)のマイクロ USB 端子を DrivePro のマイクロ USB ポート(本体右側面部)に接続します。
3. USB ケーブルの USB 端子を PC の利用可能な USB ポートに接続します。



DrivePro のパッケージに USB ケーブルは付属されていません。

■ Windows® 7/8/10/11 以降の場合

DrivePro を PC に接続する際にドライバのインストールは不要です。Windows® OS は DrivePro に対応したドライバを持っています。正しく接続されると、DrivePro はマイコンピュータにリムーバブルディスクとして認識され、ドライブ番号が割り当てられます。また、ハードウェアアイコン  がシステムトレイに表示されます。

Name	Type	Total Size	Free Space
▼ Hard Disk Drives (2)			
Local Disk (C:)	Local Disk	976 GB	237 GB
Local Disk (D:)	Local Disk	886 GB	3.19 GB
▼ Devices with Removable Storage (1)			
Removable Disk (E:)	Removable Disk		



*マイコンピュータでの表示例(Removable Disk [E:])

ドライブ番号は接続する PC によって異なります。

DrivePro は PC に接続した場合、外付けハードドライブのようにデータ転送を行うことができます。録画データを転送するには DrivePro のフォルダからファイルをドラッグ&ドロップしてください。

DrivePro の正しい取り外し方(Windows の場合)

1. システムトレイのハードウェアアイコン  をクリックします。
2. “Safely remove Hardware (ハードウェアの安全な取り外し)”というポップアップウィンドウが表示されます。クリックして続けます。
3. “The 'USB Mass Storage Device' device can now be safely removed from the system. (デバイスは安全にシステムから外すことができます)”というメッセージボックスが表示されたら、DrivePro を USB ポートから取り外します。



■ macOS® 10.14 以降の場合

DrivePro を接続する際にドライバのインストールは不要です。利用可能な USB ポートに接続すると、自動的に認識されます。



DrivePro の正しい取り外し方(Mac OS の場合)

DrivePro のディスクアイコンをドラッグ&ドロップでゴミ箱に入れ、USB ポートから取り外します。

注意



1. データの消失や破損を防ぐために DrivePro は正しい方法で PC から取り外してください。
2. DrivePro が PC に接続されている間はファイルの転送しかできず、DrivePro の機能を使用することはできません。通常の機能を使用する場合は PC から取り外してください。
3. DrivePro が PC に接続されているときは、PC から要求された場合でもフォーマットやディスクの初期化を行わないでください。

8. 安全のための使用上の注意

以下の安全のための使用ガイドラインは**重要です!** 記述に従って使用者の安全を確保し、DrivePro 自体の損害を受けぬように正しくご使用ください。

■ 通常の使用

- 車両にのみ使用してください。
- 走行中、運転者は DrivePro や DrivePro App の操作や画面の注視をしないでください。このような行為は道路交通法第 71 条への違反となり処罰の対象となります。運転者が操作する場合は必ず安全な場所に停車してから操作してください。
- 走行中に緊急録画ボタンを押すなどの操作をしないでください。
- DrivePro は連続で映像を記録しますが、全ての状況において映像の記録を保証するものではありません。
- DrivePro は事故の証拠として効力を保証するものではありません。
- DrivePro の故障や本製品使用によって生じた損害、および記録された映像やデータの消失、損傷、破損による損害について弊社は一切責任を負いません。
- DrivePro によって録画した映像は使用方法によっては被写体のプライバシーなどの権利を侵害する場合がありますが、弊社は一切の責任を負いません。
- DrivePro の動作を確かめるための急ブレーキなど、危険な運転は絶対にしないでください。
- 録画条件により、録画のコマ数が変わる場合があります。
- LED 式信号機は点滅して撮影される場合や色の識別ができない場合があります。その場合、前後の映像や周辺の車両状況から判断してください。それにより発生した損害について弊社は一切の責任を負いません。
- DrivePro を非常に高温または低温な環境下で使用しないでください。また、直射日光が当たる場所、暖房機器の近く、湿度やほこりの多いところに保管しないようにしてください。
- 水や他の液体が DrivePro にかからないようにしてください。
- 気温の低いところから高いところへ移動すると、本体内に結露が生じることがあります。故障や発熱の原因となりますので、そのまま使用し続けしないでください。
- カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布で軽く拭いてください。
- 塗装面を傷めるため、ベンジンやシンナー等の揮発性の薬品を使用して拭かないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。
- DrivePro は精密機械ですので、静電気や電氣的ノイズ等によりデータ破損/消失が発生することがあります。その場合は作動しません。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止してください。
- 感電や故障の原因となりますので本体及び同梱品を分解等しないでください。
- 強い磁場や振動がある場所で DrivePro を使用しないでください。
- 別のカーアダプタを使用した場合、動作の保証ができませんので必ず付属の専用カーアダプタを使用してください。
- 車によってはエンジンを止めた後もシガーソケットから電源供給を行うことがあります。その場合はバッテリーの消耗を抑え、予期せぬ問題を防ぐために、エンジン停止後またはアイドリング状態時にシガーソケットからカーアダプタを外すなどしてください。
- 事故発生時は録画データが上書きされないように microSD カードを保管してください。

- 液晶パネルの表示部を強く押ししたり、先の尖ったもので扱わないでください。
- サングラス等を通して液晶パネルを見ると偏光特性により表示が見えなくなることがあります。
- 周囲の温度が高くなると液晶パネルの表示部が黒くなる場合がありますが、ディスプレイの特性であり、故障ではありません。
- 液晶パネルは精密度の高い技術で製造されており、99.99%以上の有効画素数がありますが、0.01%の画素欠けや常時点灯する画素があることをご了承ください。
- microSD カードの挿抜時は本体に電源供給がされていないことを確認してください。
- microSD カードは必ず DrivePro でフォーマットしてください。
- ワイドアングルレンズを使用しているため、映像にゆがみや影が生じることがあります。これはレンズの特性によるもので故障ではありません。
- GPS システムは DrivePro の動作や正確性に影響を与える場合があります。GPS 情報は実際とは異なる場合があります、トランセンドは GPS データの正確性を保証しません。走行中の判断の参照にはしないでください。
- GPS 信号はビルやメタルコートフィルム遮断されることがあります。GPS データの精度は天候や利用場所などにより変化します。(例: 高層ビル、トンネル、地下、森の中など)

■ 取付け位置

- DrivePro はドライバの視界を遮ったり、エアバッグの作動を妨害しない位置に取り付けてください。また、脱落/落下による怪我や事故等を防ぐためにしっかりと取り付け、カーアダプタも確実に接続してください。
- 悪天候時にも鮮明な映像が撮影できるように、DrivePro はフロントガラスのワイパー可動域に取り付けてください。
- 接触不良による火災を防ぐためにシガーソケットやカーアダプタの汚れはよく拭いてください。
- コードを傷つけないよう、無理に曲げたりしないでください。また、カーアダプタを抜くときはコードを引っ張らないようにしてください。
- テレビアンテナの近くで使用すると受信感度の低下、ちらつき、ノイズの原因となる可能性があります。



注意: 着色フィルムにダメージを与える恐れがありますので、着色ガラスの窓やフィルムが貼られている窓に DrivePro を取り付けないでください。

■ データのバックアップ

- トランセンドはデータの損失や損傷には一切の責任を負いません。
定期的に PC やストレージメディアに DrivePro のバックアップをとることをお勧めします。
- 高速データ転送を利用するには、PC の USB ドライバが Hi-Speed USB 2.0 仕様に対応している必要があります。USB ドライバの情報についてはご使用の PC またはマザーボードのマニュアルを参照ください。
- microSD カードは消耗品ですので、定期的に新品への交換をお勧めします。長時間使用による不良セクタの発生等が原因で正常に記録できなかつたり、カードエラーで使用できなくなることがあります。
- microSD カードの消耗に起因する故障等について弊社は一切の責任を負いません。
- カードリーダーは使用する microSD カードに対応したものを使用してください。

9. トラブルシューティング

もし故障が生じた場合は、修理に出す前にまず弊社ウェブサイトの FAQ を参照ください。

<https://jp.transcend-info.com/Support/No-1145>

それでも解決策が見つからない場合や解決できない場合は、販売店、サービスセンター又は現地のトランセンドオフィスまでお問い合わせください。ハードウェアに関する事は DrivePro ユーザーマニュアルを参照ください。

10. 仕様

接続インターフェース:	USB 2.0
ストレージ容量:	microSD カード, 32GB / 64GB / 128GB / 256GB (Class 10 以上)
サイズ:	58.3 mm (L) × 36 mm (W) × 22.8 mm (H) 2.3" (L) × 1.42" (W) × 0.9" (H)
重量:	40g 1.41 oz
バッテリー:	リチウムポリマー
直結ケーブルによる電源供給:	入力 DC 10V~28V / 1.35A 出力 DC 4.6V~5.25V / 2A
カーアダプタによる電源供給:	入力 DC 10V~28V / 1.5A 出力 DC 4.6V~5.25V / 2A
DrivePro の電源供給:	入力 DC 5V / 2A
動作環境温度:	-20°C (-4°F) ~ 60°C (140°F)
動画フォーマット:	H.264 (MP4: 最大 2560x1440P / 30fps)
レンズ:	F/2.0, 140°ワイドアングル
解像度 / フレームレート:	2K QHD 2560 x 1440P / 30fps (デフォルト) フル HD 1920 x 1080P / 30fps HD 1280 x 720P / 30fps フル HD 1920 x 1080P / 60fps
Wi-Fi:	802.11b/g/n
認証:	CE, FCC, BSMI, KC, RCM, EAC, MIC, NCC, UKCA
保証:	2年
注記	頻繁に運転される方はMLC NANDフラッシュを採用している耐久性に優れたトランセンドの高耐久 microSDカードをご利用ください。 <ul style="list-style-type: none">● 32GB-64GB High Endurance microSDHC card (TS32GUSDHC10V/ TS64GUSDXC10V)● 64GB-256GB High Endurance microSDXC 350V card (TS64GUSD350V / TS128GUSD350V / TS256GUSD350V) フルHD1920x1080P 60fpsで記録する場合、視野角は100°(対角)

11. リサイクルと環境への配慮



製品のリサイクル(WEEE): 本製品はリサイクルまたは再使用が可能な高品質の部材を使用して設計および製造されています。車輪付きゴミ箱にバツ印の入ったマークは WEEE 指令対象製品であることを示しています。

電気・電子機器を廃棄する際には、販売店による引取りなど、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、古くなった製品は適切な方法で廃棄するようにしてください。



バッテリーの廃棄: このマークは EU 新電池指令(2006/66/EC)に該当する充電式バッテリーを内蔵している製品に表示されており、適切な方法で廃棄する必要があります。

バッテリーを廃棄する際には、必ず各国の法律に従ってください。環境や健康に悪影響を及ぼす可能性がありますので、バッテリーは適切な方法で廃棄するようにしてください。

取替え不可なバッテリーが内蔵されている製品についてはバッテリーを取り外す(または取り外そうとする)と保証が無効となります。製品を廃棄する際に取り外して適切に廃棄してください。

警告

不適切なバッテリーとの交換は爆発の危険性を伴います。

使い古したバッテリーは指示に従って廃棄してください。

12. EU Compliance Statement

Transcend Information hereby declares that all CE marked Transcend products incorporating radio equipment functionality are in compliance with Directive 2014/53/EU.

The full text of the EU declaration of conformity is available at the following internet address:

www.transcend-info.com/eu_compliance



Dashcam / Body Camera series

Frequency:

2400-2483.5MHz

Maximum transmit power:

< 100mW

DrivePro Body 60

Frequency:

2400-2483.5MHz

Maximum transmit power:

< 100mW

Frequency:

5150-5250MHz

Maximum transmit power:

< 100mW

13. Federal Communications Commission (FCC) Statement

This device complies with Part 15 FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference. (2) This device must accept any interference received including interference that may cause undesired operation.

This Equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

RF Exposure Statement:

This equipment complies with FCC RF radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20cm between the radiator and your body.

You are cautioned that changes or modifications not expressly approved by the part responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Radiation Exposure Statement:

This Transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

14. 保証規定

“枠を越えて、更に上に”はトランセンドのカスタマーサービスにおける姿勢です。私たちは常に自身を業界基準よりも高い位置に置くように心がけています。それはお客様の満足を得られるための私たちの義務だと思っております。

トランセンドの製品は全て保証付きで、不良品のないようにテストを受け、公示している仕様に準拠していることを確認しています。トランセンドの DrivePro が、推奨された環境において通常の使用をしている間に、製造や部品の不備のせいでは不具合が起きた場合、保証期間内であれば修理もしくは同等の製品との交換を行います。ここでは保証の条件と制限事項について述べます。

保証期間: トランセンドの Drive Pro の保証は、購入日から 2 年間有効です。保証サービスを受けるには、購入日を証明するものが必要となります。トランセンドは製品を検査し、修理可能であるか、交換が適当であるかどうかを査定します。修理か交換の決定はトランセンドにお任せください。トランセンドでは該当製品と機能的に同等である製品と交換する権利も保有させていただきます。(付属の microSD カードの保証期間は 2 年です。)

制限事項: 本保証は、事故、不正扱い、酷使、不正な取付け、改造、天災、間違った使用、電気的問題などによる不良には適応いたしません。また、製品ケースの取り外し、品質シールや製品シリアル番号を含めた製品表面の物理的ダメージ、誤用、改変が認められる製品の保証はいたしません。トランセンドは、ハードディスクやフラッシュメモリデバイスの故障によるいかなるデータの損失について復旧の責任を負いません。トランセンドの Drive Pro は業界基準に沿っていることが確認されたデバイスと一緒にご使用してください。トランセンドはサードパーティのデバイスとの併用で生じたトランセンド製品不具合によるダメージについての責任を負わないこととします。また、後発的、間接的又は偶発的なダメージや、負債、投資の損失、データの損失によるビジネス弊害などについても一切の責任を負わないこととします。また、サードパーティの装置のダメージや故障については、その可能性を認知していたとしても責任を負いません。

おねがい

- ・ 故障品の修理/交換の受け付けは弊社に送付いただくことで受け付けております。弊社より返送時は弊社負担ですがご送付いただく際は送料をご負担ください。
- ・ 本製品は将来改良の為予告なく変更する場合があります。
- ・ 本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましては、お買い上げの販売店もしくは弊社サポートセンターにお問い合わせください。

保証サービスを円滑に行うために、購入日から 30 日以内に製品登録を行ってください。

http://jp.transcend-info.com/Member/register_t.asp

※ここに記載されている内容は予告なく変更されることがあります。



Transcend Information, Inc.

<http://jp.transcend-info.com>

* Transcend ロゴは Transcend Information, Inc.の登録商標です。

*仕様は予告なく変更する場合があります。

*すべてのロゴとマークは各社の商標です。

15. GNU General Public License (GPL) Disclosure

Firmware incorporated into this product and/or software used for this product may include third party copyrighted software licensed under the GPL (hereinafter referred to as “GPL Software”). In accordance with the GPL, if applicable: 1) the source code for the GPL Software may be downloaded at no charge or obtained on CD for a nominal charge by calling Customer Support within three years of the date of purchase; 2) you may copy, re-distribute and/or modify the GPL Software under the terms of the GNU General Public License as below or any later version, which may be obtained at <http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>; 3) the GPL Software is distributed WITHOUT ANY WARRANTY, without even implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. The entire risk as to the quality and performance of the GPL Software is with you. Transcend does not provide any support for the GPL software.

16. 使用許諾契約(EULA)

ソフトウェアライセンス条項

1. 一般規定

トランセンド・インフォメーションおよびその関連会社(以下「トランセンド」)は、本使用許諾契約(以下「契約」)に基づき、ソフトウェア/ファームウェア(以下「ライセンスソフトウェア」)について、個別に提供されている場合、トランセンド製品(「以下製品」)に関連して提供されている場合、製品の最初の購入者に提供されている場合、もしくは購入時にライセンスソフトウェアがインストールされている場合、にかかわらず、本契約の条件すべてに同意した購入者(以下「お客様」)に対してインストールまたは使用するための以下のライセンスを付与いたします。これらの条件を注意深くお読みください。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は本条項に同意したものと見なされます。本契約の条件に同意しない場合は、ライセンスソフトウェアをインストールまたは使用しないでください。

2. ライセンスの付与

トランセンドは、本契約の条項に基づき、お客様が製品にライセンスソフトウェアをインストールおよび使用するための非独占的で、譲渡不可、頒布不可、貸与不可、サブライセンス不可の個人的ライセンスを付与します。

3. 知的財産権

ライセンスソフトウェアの著作権およびその他すべての知的財産権は、トランセンドまたはそのサプライヤまたはライセンサが所有します。本ライセンスで明示的に付与されていない権利はすべてトランセンドが保有します。

4. ライセンス制限

お客様は、次の行為を第三者に許可または供与することはできません。(a)ライセンスソフトウェアを製品に関連する目的以外で使用する、またはライセンスソフトウェアの設計やドキュメントと一致しない方法で使用する。 (b)ライセンスソフトウェアの使用許諾、提供、貸与、譲渡、販売、または商業環境やサービス環境でのライセンスソフトウェアの使用。(c)該当する法律によって明示的に許可されている場合を除き、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブル、ソースコードの解明、によってライセンスソフトウェア関連の企業秘密の発見を試みる。 (d)ライセンスソフトウェアの派生物を改変、改訂、変更、翻訳、または作成すること。(e)ライセンスソフトウェアおよび製品に関する著作権表示やその他の権利表示を削除、変更、不明瞭にすること。または(f)製品またはライセンスソフトウェアのコンポーネント、

機能、または機能へのアクセスを制御するためにトランセンドが採用している方法を回避、もしくは回避を試みることを。

5. 複製

お客様自身のバックアップが目的でライセンスソフトウェアの個別コンポーネントのコピーが1つ作成されることが不可避な場合を除き、お客様はライセンスソフトウェアをコピーすることはできません。

6. ソースの開示

ライセンスソフトウェアは、以下のライセンス条項に従ってトランセンドに使用許諾されたオープンソースコンポーネントが含まれますが、これに限定してはなりません。

- (a) GNU General Public License (GPL)
利用規約: <http://www.gnu.org/licenses/gpl.html>
- (b) GNU Lesser General Public License (LGPL)
利用規約: <http://www.gnu.org/copyleft/lesser.html>
- (c) Code Project Open License (CPOPL)
利用規約: <http://www.codeproject.com/info/cpol10.aspx>

上記のライセンス条項は、オープンソースコンポーネントに関してのみ適用されます。本契約が、対応するオープンソースコンポーネントの使用に関して上記の1つもしくはそれ以上のオープンソースライセンスの要件と矛盾する場合、お客様は上記該当オープンソースライセンスに拘束されることに同意するものとします。

7. 免責事項

トランセンドは、ライセンスソフトウェアの適応性、信頼性、可用性、適時性、ウイルスまたはその有害なコンポーネントの不在、情報の正確性、ライセンスされたソフトウェア、製品、サービス、および関連する著作権の正確性について、保証や表明は行いません。そのようなすべての情報や、ライセンスされたソフトウェア、製品、サービス、および関連するグラフィックスは、いかなる種類の保証もなく「現状のまま」で提供され、商品性、特定の目的のための適合性、タイトル、法的状態、および非侵害性に対する適合性の黙示的な保証および条件を含め、すべての保証および条件を否認します。

いかなる場合でも、トランセンドは、直接的、間接的、懲罰的、偶発的、結果的、間接的な損害、または付随的損害賠償、営業権または事業利益の喪失に対しても、責任を負わないものとします。ライセンスソフトウェアの使用の遅延または使用不能によって引き起こされたデータの損失 または利益の損失またはその他の損害の可能性について助言されていたとしても責任を負いません。

8. 責任制限

いかなる場合も本契約に起因または関連して生じるトランセンドの責任は、お客様が製品を最初に購入した際の実際の総額内に限定されます。前述の免責事項および責任制限は、管轄区域の適用法によって許可される最大の範囲に適用されます。

9. 契約の終了

お客様が本契約により付与された義務に違反した場合、トランセンドが利用できるその他の救済措置に加えて、本契約を直ちに終了することができます。

10. その他

(a)本契約は、契約の主題に関するトランセンドとユーザーの間の完全な合意を構成するものであり、すべての変更は書面で行われ、トランセンドの承認された監督者によって署名されなければなりません。(b)関連法に別段の定めがない限り、この契約は中華民国の法律に準拠し、相対する外国民法の適用を除外します。

本契約に関連する紛争については、台湾士林地方裁判所が第一審の管轄裁判所となります。(c)本契約の条件のいずれかの部分が管轄裁判所により無効または執行不可能であることが判明した場合でも、残りの部分は引き続き完全な効力を有します。(d)本契約の条項や条件についていずれかの当事者が権利放棄をするか違反した場合でも、その後に引き続き違反やこれらの条項の権利放棄をするとは見なされないこととします。(e)トランセンドは、本契約に基づく権利を無条件で譲渡することができます。(f)本契約は、当事者、当事者らの後継者と譲受人を拘束するものであり、両当事者の利益となるものとします。